

4. National Research Coordinator's Comments (Japanese)

- [00:00:00](#) 礼： 教科や学校段階にかかわらず、日本の授業は始めに「お願いします」という礼と終わりに「ありがとうございました」という礼を行うのが一般的である。始めの礼は、それからの時間で勉強に真面目に取り組む姿勢に変わることを暗黙に宣言するものである。（ビデオは礼の直後から始まっている）
- [00:00:13](#) 課題の提示： 前時の実験での実験プリントを用いて、実験で得られたデータの考察を、実験の班で行い、結論を導くことが、本時の課題であることを明確に伝えている。授業の始めに課題（本時で取り組む事柄）を明確にすることは一般的である。
- [00:03:00](#) 既習事項の確認、考察に必要な知識の導入： 生徒が考察を進めるために必要な知識を確認するとともに、創意ある考察を促すためのヒントとなりうる新たな知識を与えている。答えを与えるのではなく、自ら考えさせるための状況づくりに配慮している。
- [00:04:40](#) 学習方法の指示： 班学習の進め方を指示している。
- [00:05:10](#) 班学習： 実験班に分かれて、少人数（4人程度が一般的）で意見交換しながら考察を行わせる。班の構成は、男女別のことも、男女混合の場合もあるが、この教師は男女混合としている。
- [00:06:00](#) 個別の班指導： 易しい考察ではないため、班ごとに、それぞれの状況に応じて、どのように考察を進めたらよいか、助言支援を与えている。個別に同様の支援を与えるために、やや時間が長く感じられる。後半では、時間をもてあます生徒も見られる。
- [00:24:15](#) 班ごとの発表： まず、各班から実験結果について報告させている。
- [00:30:00](#) 実験結果のまとめ： 実験結果の写真ボードを用いて、各班の実験結果をまとめている。本時は実験室でなく一般教室であるが、こうした写真ボードは色の違いなど明確に伝えるためによい工夫と思われる。生徒もよく注目している。
- [00:34:20](#) 考察結果の発表： 一部の班から考察結果について報告させている。
- [00:37:15](#) 学習のまとめ： 実験から分かったことについて、教師の言葉でまとめ、板書している。生徒は各自のノートに書き写している。生徒が書き終わるまで十分に時間を与えている。
- [00:40:00](#) 学習事項の解説： 板書内容について、説明を加えながら、理解を深めさせている。
- [00:41:30](#) 教科書での学習事項の確認： 教科書のテキストのどの部分が該当するかを、アンダーラインさせることで、学習事項を教科書上で確認するとともに、ポイントを板書してノートさせることで、知識として定着を図っている。
- [00:49:50](#) 次時の学習課題： 次の時間に何をするかを知らせている。
- [00:50:00](#) 礼： 終わりの礼
- [00:50:30](#) 実験レポートの提出： 実験レポートを回収して、生徒の学習状況を把握している。全体的なコメント： 本時の展開は、日本の中学校理科授業ではとても一般的なものである。実験のまとめと考察を実験の次の時間に行うことで、より時間的にゆとりをもって考察を行うことができる。学習内容は、学習指導要領、及び、教科書に準拠した（すべての生徒が履修すべき）基本的な内容である。